

オーディオ B-ダイレクト

- ファーストフィット
- アクセサリーの設定



この紙面では、フォナック オーディオ B-ダイレクト（以下、オーディオ B-ダイレクト）のファーストフィットおよび互換性のあるアクセサリとの設定方法について説明しています。スマートフォンとのペアリング作業につきましては、端末によって設定方法が異なりますので、使用端末の取扱説明書をご確認ください。

セットアップ

まず初めに、お使いのパソコンにバージョン 5.2.1 以上の Phonak Target をインストールしておきます。（2018 年 7 月現在の最新バージョンは 5.3.3）

❖ Noahlink Wireless（ノアリンクワイヤレス）の設定

オーディオ B-ダイレクトをフィッティングする前に、フィッティングに必要となる接続機器【ノアリンクワイヤレス】のセットアップを行います。設定方法に関する詳細は、別資料『ノアリンクワイヤレスの設定』をご確認ください。

（AirLink2 のアップグレードについては掲載しておりません）



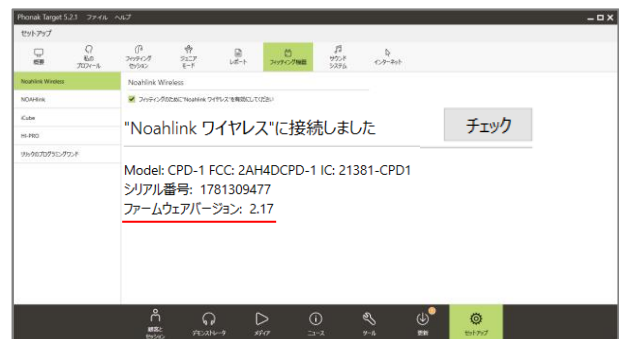
1) ノアリンクワイヤレスのドライバーをインストールします（a または b）

- 同梱されているユーザーマニュアルの中に入っている USB スティックからインストール
- Phonak Target の中に入っているファイルからインストール
 - Phonak Target > support > HIMSA > Noahlink Wireless > 【Driver_NLW_V.1.1.0.0.exe】

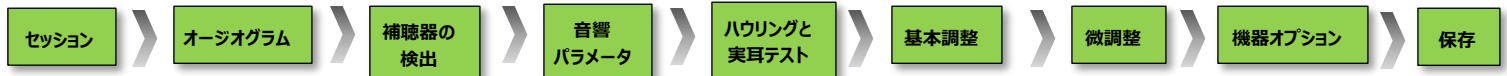
2) 同梱されていた USB ケーブルをノアリンクワイヤレスに差し、ケーブルの逆側をパソコンの USB ポートに差します

3) Phonak Target を使い、ノアリンクワイヤレスの接続状態を確認します

- ①【セットアップ】> ②【フィッティング機器】> ③【Noahlink Wireless】画面にある**④【チェック】**をクリック
 - 機器が正しく認識されると、【チェック】がグレー色に変わり、機器情報が表示されます



フィッティング ファーストフィットの流れ



セッションを開く

スタンドアローンの場合：

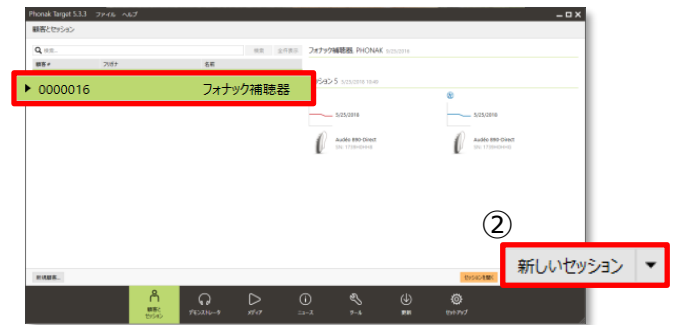
Phonak Target を起動します。

- ① 初めてフィッティングする場合は【新規顧客】をクリックし、顧客データを作成します。



↑ 上記画面は顧客データが未登録の場合：

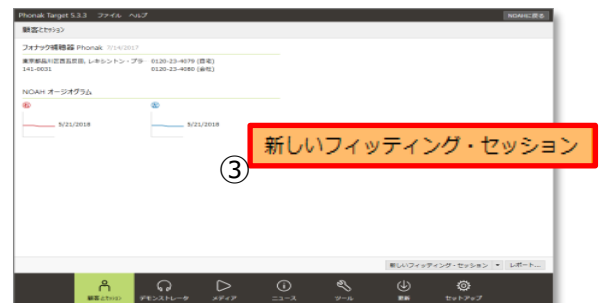
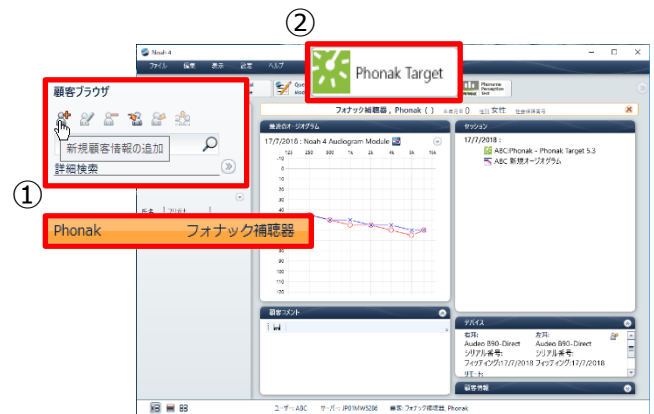
- ② 顧客が選択されているのを確認し、【新しいセッション】をクリックします。



NOAH System の場合：

NOAH System を起動します。

- ① すでに顧客データがある場合は該当する顧客を選択します。初めてフィッティングする場合は【新規顧客情報の追加】をクリックし、顧客データを作成します。
- ② 顧客が選択されているのを確認し、上段から【Phonak Target】をクリックして起動します。
- ③ 【新しいフィッティング・セッション】をクリックし、セッションを開きます。



オーディオグラムを入力

【顧客】タブ>【オーディオグラム】画面から聴力レベルを入力します（スタンドアローンの場合）。

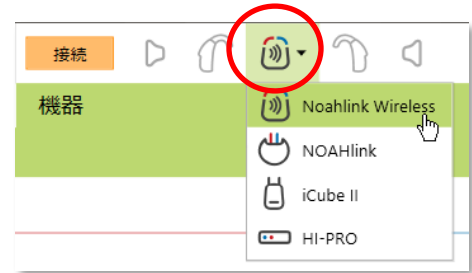
- NOAH System の場合はオーディオグラム入力専用ソフト【Audiogram Module】を使い、Target を起動する前に聴力レベルを入力します。



補聴器の検出

接続機器を【Noahlink Wireless】に設定します。

- リストに該当機器が存在しない場合、セッション外にある【セットアップ】>【フィッティング機器】>【Noahlink Wireless】画面を開き、【有効にする】に✓を入れます（1ページ目を参照）。



オーディオ B-ダイレクトを用意し、**オレンジ色の** **接続** をクリックして補聴器を検出します。検出できない場合は、電池ホルダーの開け閉めを行ってから再検出してください。



補聴器が検出されたら、使用する左右を正しく選択します。補聴器のプログラムスイッチを押すと、画面上で押した左右が光ります。



初めて補聴器を接続すると、補聴器の装用経験を選択するプルダウンが表示されます。この選択で利得レベル（%）が決定されます。

- 2回目以降の接続は、右図のように
- ①補聴器からのフィッティングを使用
 - ②新しいフィッティングを作成
- どちらか選択する文言が表示されます



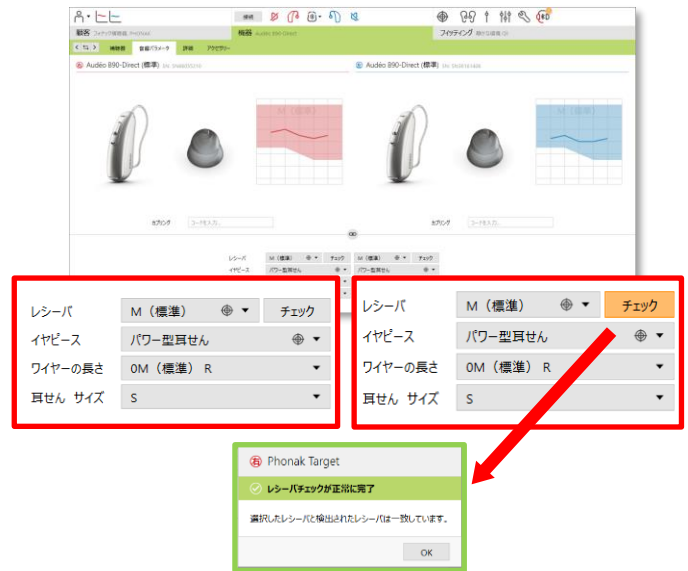
接続に成功したら【閉じる】をクリックしてフィッティングを始めます。



音響パラメータ

補聴器が接続されると、「機器」タブ>【音響パラメータ】画面に自動的に移動します。同時に、レシーバチェックも行われます。自動確認された内容が正しいか確認します。

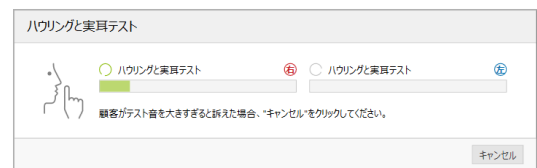
- カプラを変更する場合、表示されたレシーバーと実際に使用しているレシーバーが合致しているか **チェック** を押して確認します。
(**橙**...未実施、**グレー**...実施済)



ハウリングと実耳テスト

【フィッティング】タブ>【ハウリングと実耳テスト】画面に移動し、画面に表示される **右** **両耳で開始** **左** をクリックしてテストを行います。

- このテストを実施することで、ファーストフィットの正確性およびハウリング抑制の安定性が向上します。
- **両耳で開始** を選択しても、テストは片耳ずつ順に実施されます。
- テストに失敗した場合は、再度行うか、画面下にあるホイッスルブロックを“オン”にします。



基本調整

【フィッティング】タブ>【基本調整】>【初期フィッティング】>【利得レベル】に選択された目標利得を確認します。

(補聴器接続時に選択した装用経験に基づき、自動選択されています)

プルダウン▼から選択して変更することも可能です。

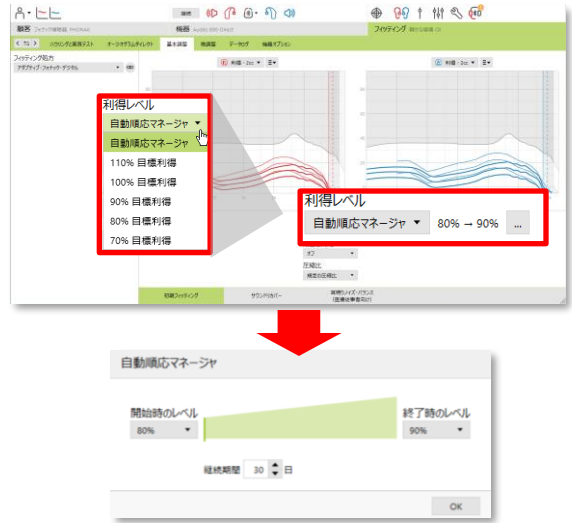


ステップ UP ポイント

<自動順応マネージャ>

同画面において、使用時間や日数に合わせて利得レベルを徐々に変えていく【自動順応マネージャ】を使用する場合、予め、【ハウリングと実耳テスト】を行っておく必要があります。

- 利得レベルのプルダウン▼をクリックすると、目標利得と並んで“自動順応マネージャ”の文言が表示されます。これを選択すると、予め選択された装用経験に基づき、最初の目標利得が提示されます。
- 開始時と終了時の目標利得レベルの変更は ... をクリックし、プルダウン▼から選択します。継続期間は 7 日~800 日間から選択できます。



微調整

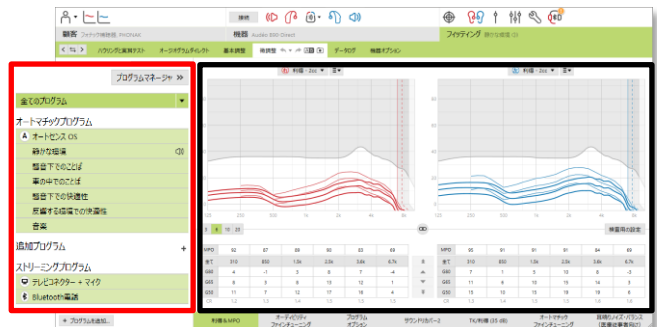
【フィッティング】タブ>【微調整】>【利得 & MPO】画面に移動し、設定プログラムを確認します。

- 左側がプログラムリストで、中央と右側が特性です。
- **A オートセンス OS** の下に並んだ複数プログラムは、これら全てを含めて 1 モードして作動します。
- **プログラムマネージャ >>** をクリックすると、プログラムの詳細内容を確認することができます。

オーディオ B-ダイレクト プログラム構成 (初期設定)

全てのプログラムは大きな 3 つの項目に分かれています：

- ①オートマッチプログラム：オートセンス OS
- ②追加プログラム：無し
- ③ストリーミングプログラム：テレビコネクター + マイク
Bluetooth®電話



左側：プログラムリスト 中央&右側：補聴器の特性



プログラムマネージャを開けた図

ステップ UP ポイント

<プログラム追加または変更>

プログラム追加または変更をする場合、**プログラムマネージャ >>** をクリックし、プログラムの詳細画面を開きます。

- 3つの各項目横にある **+** をクリックするか、プログラムマネージャ画面左下にある **+ プログラムを追加...** をクリックし、プログラムを追加することが可能です。
- プログラムの順番はポジションのプルダウンから変更します。
- スタートアップに●が付いているプログラムが、電池ホルダーを閉めて最初に作動するプログラムです。

オーディオ B-ダイレクト プログラム構成サンプル (プログラム追加後)

- ①オートマッチプログラム：オートセンス OS
- ②追加プログラム：静かな環境 1
- ③ストリーミングプログラム：テレビコネクター + Bluetooth®電話

- プログラム名の左側に、追加した順に①から番号が割り当てられます。(Aはオートマッチ)

<プログラムオプションの確認>

各プログラムのサウンドクリーニング機能（ノイズブロックやウインドブロックなど）を確認する場合、該当するプログラムをクリックした後、**【プログラムオプション】**画面を開きます。

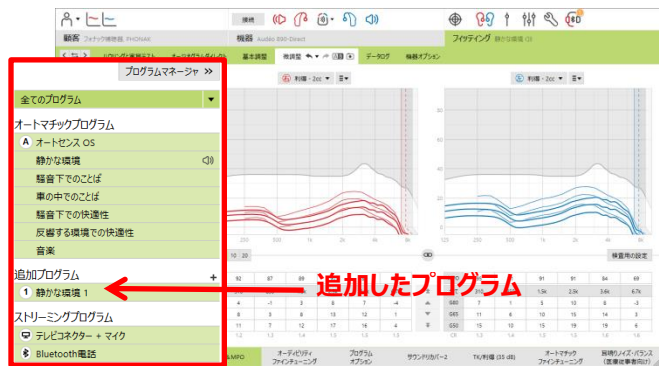
- スライダーを左右に動かして変更します。



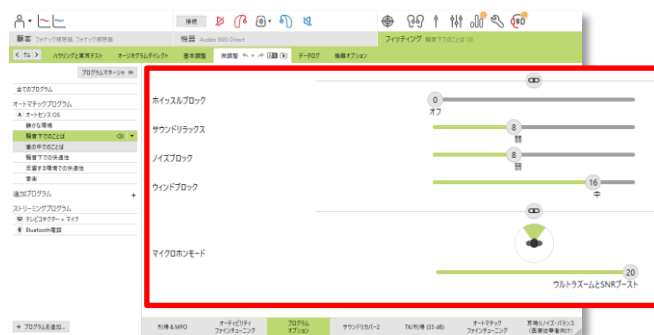
プログラムマネージャからプログラムを追加



プログラムを追加すると...



追加したプログラム



機器オプション

<プログラムスイッチ>

【フィッティング】タブ>【機器オプション】>【プログラムスイッチ】画面に移動し、プログラムスイッチの作用を確認します。

プログラムスイッチ（初期設定）

初期設定では次のように設定されています：

- 短押し：ボリューム（片耳の場合は音量上げる / 音量下げるに設定）
- 長押し：プログラムを変更する

- 補聴器のプログラムスイッチを使って、携帯電話からの着信を受けたい場合は、上記にある初期設定とおりに設定してください。
- 画面中央にある **状態を表示** からプログラムの作用を確認することが可能です（右図参照）。



<Bluetooth®&ストリーミング>

【機器オプション】>【Bluetooth®&ストリーミング】画面で、受話耳を変更することが可能です。（初期設定は右）



<お知らせ音と警告音>

【機器オプション】>【お知らせ音と警告音】画面に移動し、補聴器から提示するビーブ音の設定状態を確認します。

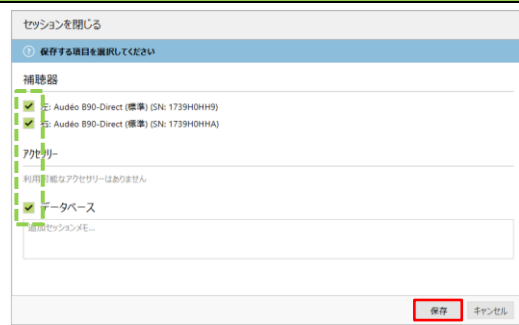
- 『一般的なアラート』横の をクリックし、『低電圧』を選択すると、補聴器接続時であれば、補聴器からデモ音が提示されます。
- 音量はビーブ音の大きさ、周波数はビーブ音の高さを示します。（項目別に設定することはできません）



保存

画面右上にある **セッションを閉じる** をクリックし、補聴器、データベース、必要に応じてアクセサリに を付けて【**保存**】をクリックします。

- 保存に成功したら、【**セッションを閉じる**】をクリックしてフィッティングを終了します。



フィッティングを行った後は・・・

補聴器と携帯電話をペアリングする際、電池ホルダーを開け閉めしてから Bluetooth®画面で検索するようにします。

電池ホルダーを開け閉めすることで Bluetooth®のペアリングモードになります。(3 ページ目参照)

リモートアプリをペアリングする際も同じです。

テレビコネクターは、機器から 1m 以内に補聴器を近づけてテレビコネクターの接続ボタンを押します

(詳しくはテレビコネクターの取扱説明書をご参照ください)。

ペアリングが成功すると、補聴器からビーブ音が提示されます。

